

令和6年能登半島地震 被災地派遣職員 帰庁報告会

関西広域連合現地支援本部（石川県庁）

（1）主な活動（1月2～5日）

- ・石川県全体の被害状況及び支援ニーズの把握（県対策本部会議・本部事務局との連携調整）
- ・総務省応援派遣室、全国知事会、中部ブロック幹事県（三重県）と連携した対口支援の調整
- ・国現地対策本部及び全国知事会等と連携した物資支援調整
- ・関西広域連合災害対策支援本部会議・参与会議（web、1月4日）への参加

（2）被災地支援に関する今後の対応

- ・被災市町の対策本部及び市町業務全体への支援
- ・更なる避難所支援や生活物資の提供など被災者対応の充実
- ・フェーズに応じた復旧、復興に係る知見の提供



（石川県災害対策本部会議）



（政府現地対策本部打合せ）



（情報連絡員出発式）

令和6年能登半島地震に係る学校・震災支援チーム（EARTH）の 第1次先遣隊派遣と今後の対応について【教育委員会事務局】

1. 先遣隊派遣の概要

石川県教育委員会事務局より、学校再開や避難所運営等支援に向けて、EARTHの先遣隊派遣による意見交換の要請があったことから、1月5日（金）～1月7日（日）の期間で第1次先遣隊を派遣。

【訪問先】

- 1月5日（金） 石川県教育委員会事務局
- 1月6日（土） 珠洲市教育委員会事務局、県立飯田高等学校（珠洲市内）他2校
- 1月7日（日） 七尾市立山王小学校、七尾市立小丸山小学校（※7日の学訪問先は石川県教育委員会事務局と相談の上決定。）

2. 訪問先の状況等

珠洲市教育委員会事務局意見交換

【主な状況等】

- 教委職員数名で対応せざるを得ない状況。
- 学校再開に向け、各学校の課題の把握、状況・情報の整理、優先的な取組事項の設定等ができていない状況。



飯田高等学校 訪問

【主な状況等】

- 学校が避難所になっているが、教職員も被災しており、校長等管理職が対応に追われている状況。
- 避難者が校内の様々な場所にいるなど、避難所の整理ができていない状況。



3. 今後の方針等

- 被災地の教育委員会が、**学校再開に向け具体的なロードマップを描き、前に進んでいけるよう、各学校の状況・課題の把握、情報の整理、取り組むべき事項の把握と優先の設定等について支援することが急務。**
- 被災地の**各学校の教職員が学校再開に向け取り組めるよう、避難所運営の支援や教職員の心のケア等について支援することが急務。**



上記支援に向けた具体的な協議や体制整備を行うため、1月10日～13日の期間で**第2次先遣隊の派遣を行**

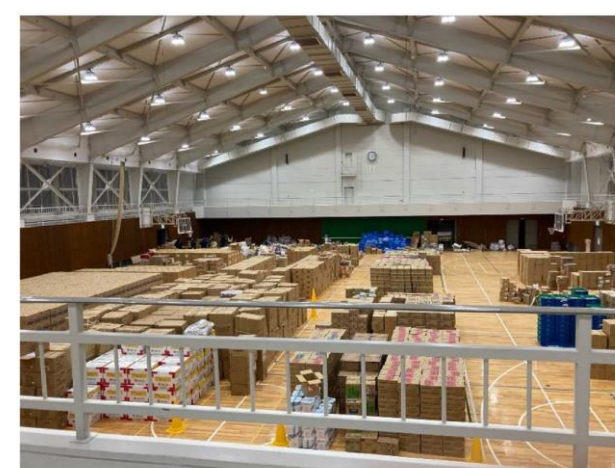
珠洲市現地連絡所情報連絡員

(1) 主な活動（1月6日～）

- ・石川県庁を訪問し情報収集
- ・支援先の珠洲市での情報収集、ニーズの把握、支援の調整

(2) 課題・現地ニーズ等

- ・山間部や北部沿岸では道路損傷により、自衛隊車両くらいしか入れる状況でない
- ・個々の避難所環境及び支援ニーズに関する調査・把握（被災者受付カードの配布・整理中）
- ・救援物資の需給バランスの確保
- ・帰省・旅行客等の市外への移送



珠洲市立健民体育館(支援物資集積拠点)



珠洲市の現地連絡所 R6.1.7



珠洲市長を交えた関係機関会議 R6.1.7